

成長を促しているが、そのテストとしての三訂刊の集刊を二度脱力、八月が巻目二冊

待をもたれるに至つてゐるほか種々の成果を示しており、これらは今後の農業生産、経営の科学化、生活の合理化に明るい目通しを与えるものであると同時に生産的な社会教育活動の基盤を築くことに資するものである。

青年クラブ活動に示唆

[illegible]

平セイ 払う実験クラブ

以上の点においてこの理化に明るい見通

旬後半と下旬には所によ月

平霞候期の天候は要(四)六月中旬から七月始め  
けて晩霜の心配有。  
大々しく時々現われぬ梅雨時期

で  
五八月の天候は七日  
四月には例年より早目過ぎから高砂陸地土中  
に以翌の嵐王記置が現われ南下する低気圧

中間追肥はやらぬが安全

四月から五月にから六月土旬の期間（五月でおおむね順調（気温高）（七月下旬と八月と）

## 椎茸栽培のコツ

堆肥の需要増加に伴い、肥料の増産も向上し農家の  
を簡単にのべ参考に

先を利用し、なかなか

こと、自家利用は勿論一栽培の要決

ことと最近は一畝と養殖簡易乾燥器の設置によ

商品化を計り新律の特として店頭にみえる日

二、原本

ること

昭和六年六月末から七月末までの関係

一杯及び六月末から七  
右長期予報から本  
初めに露型となり雨量  
の稲作管理について

まで北上し所により大時期毎に病害虫防除

味

合を通じ皆さんへお  
せしますからお互が  
的に防除に關心を持

八年度より稍良く  
苗イモチに注意。

3 苗代後期（五  
旬）六月初旬）一時  
九月は例年並か多少  
白で早冷の気配がある  
月には全般的に高温型  
のないうちに、又  
が一時期があせても

## ヒューマン・パワースの美談報告

|     |        |
|-----|--------|
| 胡椒  | 2,125円 |
| パセリ | 470円   |

|      |                     |         |
|------|---------------------|---------|
|      | (その後の見込)            | 11,460円 |
|      | 板草、30鉢40円見込         | 1,200円  |
|      | 計                   | 18,985円 |
| 〔支出〕 | ハツス一式               | 35,740円 |
|      | 農薬費                 | 660円    |
|      | 種苗費                 | 7,625円  |
|      | 肥料費                 | 1,890円  |
|      | 計                   | 45,915円 |
| 備考   | 本栽培は全くの素人が実験的に行ったもの |         |

### 3 将来に対する見通しと来年度計画

學子其發問  
 蒲留 三月一日時  
 三月二十其攝影

利

(終)

但し実験

設計によつ

胡瓜  
月  
4 中  
5 下  
10 下  
チム  
1 上  
2 上  
3 中  
シク

(見込)

+  

---

+  

---

※シクラ  
る。

肥料

窒素

であり技術

としての見通しであり実験結果

|         |     |      |        |
|---------|-----|------|--------|
| 取手      | 40  | 本宛相込 |        |
| 280     | 18  | 準備   | 5,040  |
| 280     | 12  |      | 3,360  |
| 280     | 5   |      | 1,400  |
| ツブ      | 入替  | 1月後  | 30箱寄附  |
| 800     | 18  |      | 14,400 |
| 800     | 15  |      | 12,000 |
| 800     | 12  |      | 9,600  |
| ン(100鉢) |     |      |        |
| 100     | 150 |      | 15,000 |
|         |     |      | 61,160 |

の後へグロキシニヤを播種し

支柱代

1,600円 - 29,650円 = 21,510円

苗送  
胡  
なる  
テユ  
この  
計画  
米の  
余額  
ないで変動 (C)

|           |      |
|-----------|------|
| 種苗代       | 取巻   |
| 50        | 用す   |
| (3 間)     | と園   |
|           | いる   |
|           | 室の   |
| 21,600    | 3ヶ   |
|           | 9日   |
| 5,000 (+) | 2万   |
| 26,650    | 出来   |
|           | 結 語  |
| 豆造り 仕上げ   | このよ  |
|           | し得、而 |
|           | 用した菓 |
| 3,000 (+) | 天然ガス |
| 29,650    | なのでは |
|           | これに関 |

分に追付き得る。(実験の  
第二作は収穫期が田植時期  
作業を昼休み等に当てても  
ツブの用土作りは8月中旬  
みは10月上旬で種刈りに多  
行えば支障はなからう。入  
をを外れこれからは力を温  
用面から考えてもよいと  
ールの活用

[illegible]

当るが収獲だけである。  
 ひまの時であるし、  
 の関係はあろうか。  
 は11月上旬が平均  
 住ぎ得ると思われ  
 えられる。  
 就いては実験中で  
 1年間使用したビ  
 ン、屋根を新品に  
 除け、胡瓜等々に  
 使われている。(農  
 無加温・寒室に用  
 要する費用は6坪  
 9坪として  
 ビニールの活用が  
 えられる。  
 植は約2年で収獲  
 の要する労力を大  
 につぎつ。なおそ  
 を利用しても可能  
 装置の費用不要  
 である。